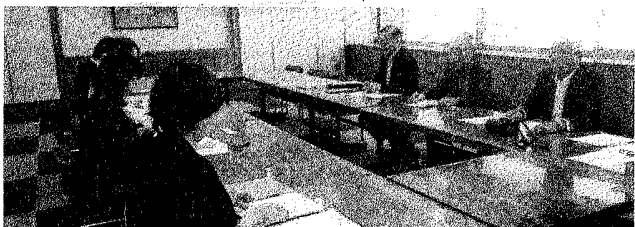


**自治体キャラバン・被爆者行脚 来碧**

**くらし・福祉・教育・平和行政の拡充を**



8名の課長に、要請するキャラバン参加者（手前）



**介護減免制度拡充、障がい者控除認定の申請書送付を**

10月24日、県保険医協会の日下紀生さんを事務局長に、愛知県社会保険推進協議会の澤田和男団長のもと、自治体キャラバンが碧南市を訪れました。碧南市民とともに介護、国保、保育、教育、納税、予防接種などの前進を求めました。

市からは、8名の課長職が出席していただきました。介護について、保険料減免は平成29年度で4人4万6千円。利用料減免はなしとなっており、保険料は一宮市や阿久比町のように、対象者を拡充すること、利用料では、武豊町のように非課税者は半額減免への拡充を求めました。また、確定申告の時期が迫っており、介護度1以上の認定者に障がい者控除のための認定書の申請用紙を他市のように送付するよう指摘されました。

**平和施策を**

10月25日には、愛知県原水爆被災者の会（愛友会）の行脚が碧南市に。15歳の時三菱電機の養成工として広島で被爆した鬼頭駿さん88歳から被爆体験を聞き、署名や平和行政の推進が求められました。福祉課長と経営企画課長補佐が、応じました。ねぎた市長は、平和首長会議に加盟したものの署名もしていません。

**おたふく・ロタ・インフルエンザ任意予防接種を**

県下では14市町村がおたふくかぜ無料接種、ロタウイルスも19市町村が無料接種をしています。碧南市では、どちらも行っていません。実施が必要です。

**産後健診は2回にして**

妊婦健診無料化が、定着しています。出産後の産婦健診も、51市町村（94・4%）が実施しています。うち8市町村では、産後2回実施しています。碧南市も今後検討すると答えられました。

**38年継続、福祉前進の力に**

1980年から始まった「愛知自治体キャラバン」は、県下54市町村をすべて訪問アンケートで施策を比較してきました。中学校までの医療費無料化、国保高額療養費の受領委任など前進させてきました。毎年の結果をまとめた冊子は、予算決算議会の実務的な貴重な資料ともなっています。日本共産党市議団も、同席しました。

**前川喜平さん モリカケ・教育・憲法を語る**

一革新・愛知の会講演と文化のタバー

10月30日、日本特殊陶業市民会館で行われた前川喜平さんの講演を聞いてきました。開場前から長蛇の列ができる超満員の会場。森悦子さんのバイオリン、斉藤紀子さんのピアノ演奏。名古屋岩の上協会相馬伸郎牧師の「人間の尊厳を守る、旧教育基本法が大好き。いつわりフェイクの政治に声をあげましょう」と語られました。前川さんは1時間以上「自分はヒーローじゃない。森友も加計問題も、不公正・不公平・不透明の3つが共通する。近畿財務局の職員が自死するような記録の改ざんなど森友はモヤモヤ感が残っている。加計問題は愛媛県の書類が安倍さんのウソを明確に暴いている。総理

国家権力の私物化！見過ごせぬ私の信条



の力が国会人事、自民党公認、警察司法の人事、文科省人事を動かしている。独立すべき機関が統率されるのは非常に危険なこと。名古屋市立八王子中学校での講演に国会議員が干渉介入することもあるのではないかと、実名を交え当事者だからこそできる、真相を解き明かす内容に引き込まれました。やっぱり真理と正義に立った人は清々しい。潔い。美しい。拍手喝采!! (山口 記)

**赤旗まつり 11月11日**  
午前10時〜鶴舞公園  
碧南市役所 (市議団に電話予約を)  
午前8時半 発  
油ヶ淵駐車場 午前8時45分 発

# 農業員会先進地視察報告 農地利用適正化推進委員 下島良一

## 給食に地元米100%野菜50% ―岩手県北上市―

北上市は人口9万2584人。農家戸数3883戸。販売農家2710戸。農業生産額約108億円（米約50%野菜畜産50%）です。



農産者と一緒に給食

学校給食地元農産物の利用は、3箇所あるセンターの農家が米100%。野菜市・県産を50%供給しています。生産者は年3回学校に出向き生徒交流も行います。現地視察には、水田転作の里芋（35ha）農林水産省は9月27日、地域の農林水産物や食品を国がブランドとして保護する地理的表示（GI）保護制度で、北上市特産の二子（ふたご）さといもを登録しました。県内4件目で、野菜は初めて。GIマークを付けて販売でき、販路拡大やブランド力強化が期待される。

市によると、赤茎が特徴の二子さといもは約300年前から品種改良せず栽培されてきました。貯蔵が難しい種芋の保存技術を伝承し、生産者が互いに種芋を融通し合ってきました。こくがあり、柔らかいものの粘りが強いのが特長です。

## 田子にんにくブランド

### ―青森県田子町―

「たっこにんにく」は、地域商標登録で、東北地方における第1号でした。100トン（にんにくラーメン・漬物・カレー・黒にんにく・コーラ）など10

0種類の加工商品開発と観光と全国発信を行っていました。国際交流は米国のギャロイ市・韓国ソナ市・イタリアモンテチエリ町です。にんにくが縁で交流を行っているとの事です。

## 「JA十和田おいらせ」もも石支所

正組合員は6603名、野菜販売高84億円。主力野菜は長芋・にんにく・ごぼう・大根・にんじんです。もも石支所では大根につき、にんじんの生産が第2位です。碧南の栽培と異なる点は、種まきのベツトをつくらず、5条播種で、10a当り3万5千粒播種します。間引き無しで高齢者対策として、種まき・肥料栽培管理まで農家が行い、農協が収穫作業、集荷場への運搬、洗い選別・箱詰め出荷を行っています。料金は10a当り3万5千円。省力化の追求と、長芋・ごぼう・大根・にんじんなどの根菜類の輪作体系で野菜栽培を行っています。また、土壌診断を活用したブランド化は、土壌診断室を造り19項目を分析。「十和田おいらせミネラル野菜」として販売されています。

## 総合観光農園「あぐりの里おいらせ

レストラン・農産物直売所・物産館・体験型多目的工房・温泉熱を利用した、イチゴ・バナナ農園・足湯など年間集客を狙った施設です。敷地面積は3ha。産直農家は156名、施設の年間売り上げは2億6千万円、来客数は41万人です。

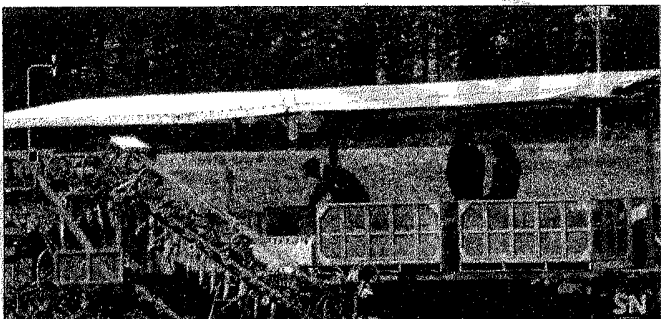
## つがる市SKファーム

資本金3000万円・従業員28名。津軽農場は大根70ha・にんじん11ha・大豆60ha・そば30ha・大麦5ha・にんにく4

haの栽培を行っています。秋田鹿角農場では、大根50ha・大豆150ha・そば60ha・小麦10haの栽培を手掛ける大規模農場です。

大根の売り上げは年間4億円、刺身のツマ・おでんで2L3Lサイズで、10a当り8t収穫しています。今が最盛期で毎日50t出荷、大豆乾燥調整出荷・黒にんにく・もち麦加工施設など、多角的に行っています。特に鹿角農場は、標高600mの高地で耕作放棄地を100ha借り受け、国からの10a5万円と、5年間10万円の補助金を生かして、農地再生を行い、つがる農場と時期をずらした栽培を行って経営の確立を行いました。

にんにく・もち麦の加工で年間を通した雇用安定を行うなど、野菜の大規模経営の取り組みに感心しました。



←つがるSKファームの大根収穫風景。まるで工場。働く人は「労働者」募集中（ホームページから）



19日行動  
11月19日(月)  
午前11時～12時  
スーパーヤマナカ前

広げよう  
安倍9条改憲NO!  
3000万署名

参議院議員  
井上さとし



参議院愛知選挙区予  
すやま初美



弁護士による無料法律相談  
◆毎週土曜日午前10時～12時  
日本共産党知立市事務所  
◆隔週火曜日午後6時～  
日本共産党西三河地区委員会事務所  
申し込みは碧南市議団へ

## 日本共産党碧南市議団



山口はるみ 岡本守正 磯貝明彦  
☎42-8940 ☎41-5357 ☎48-2718

三度山町2-70-4 笹山町6-29 若松町3-253

お気軽にご意見ご要望を